令和3年度　事務事業評価調書

施策名：林業の担い手対策の推進　／　施策コード：07081

【見直し区分】
①普及啓発　②会議等　③調査業務　④窓口業務等
⑤施設整備・維持等　⑥委託業務　⑦補助事業　⑧その他

【視点(E)(I)】
①省エネ設備の普及とエネルギー利用の効率化の促進　②再エネ導入促進、建築物の省エネ化
③次世代自動車などの導入促進　④3Rの推進による廃棄物の削減　⑤温室効果ガス吸収源対策
⑥「Smart選庁」の取組の推進による選庁における業務の効率化・省力化や多様で柔軟な働き方の実現
⑦行政のデジタル化に係る道内自治体間のノウハウの共有化の推進

【見直し状況(F)(J)(M)】
① 対応済
② 今回見直しを検討
－ 対応が不要

【見直し結果（S)(T)(U)】
見直し状況(F)(J)(M)で「②今回見直しを検討」を選択した検討結果
○見直し対応　△検討継続

整理番号	枝番	重複施策	経費区分	事務事業名	見直し区分	事務事業概要	課・局室名	執行体制 前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	本庁	出先機関	人工計	フルコスト（千円）	令和3年度 一次政策評価 対応方針番号 (A)	事務事業方向性 (B)	理由及び今後の対応 (C)	重点点検事業 Ⅰ ゼロカーボン 計画等位置づけ (D)	視点 (E)	見直し状況 (F)	理由 (G)	重点点検事業 Ⅱ Society5.0 計画等位置づけ (H)	視点 (I)	見直し状況 (J)	理由 (K)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 該当 (L)	見直し状況 (M)	内容 (N)	Ⅳ 前年度意見 該当 (O)	対応状況 (P)	二次政策評価 意見	ACTION 結果への対応（令和4年度） 次年度方向性 (Q)	次年度対応内容 (R)	重点点検事業 見直し Ⅰ ゼロカーボン (S)	Ⅱ Society 5.0 (T)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 (U)	二次政策評価 意見への対応状況
0631		－	事務	林業機械化の推進に関すること（低コストな機械作業システムの構築を含む）	②	森林作業の機械化の促進のため、必要な調査等を行う事務	林業木材課	0	0	0	0.5	1.5	2.0	15,620		現状維持	北海道森林づくり基本計画で定める「林業の健全な発展」の着実な推進に向け、生産性や安全性の向上を図るには、機械化の促進が引き続き必要であることから、今後も継続して実施する。	－	④	①	会議の開催方法をWeb開催にするなど、すでに可能な範囲において対応済み	－	⑥	①	会議の開催方法をWeb開催にするなど、すでに可能な範囲において対応済み	○	①	会議の開催方法をWeb開催にするなどコロナ禍の状況に応じた事業内容の見直しを実施				現状維持					
0632		－	事務	担い手対策の企画・立案・実施に関すること	②	林業労働に従事する者の育成・確保、技術及び技能の向上及び福利厚生の充実を図るために必要な対策の企画・立案並びに新規就業者の確保に向けた通年雇用化や就業環境の改善などを促進する事務等	林業木材課	0	0	0	3.0	1.9	4.9	38,269	③	改善（指標分析）	人口減少下での林業担い手確保・定着のため、引き続き、林業労働者の育成・確保、技術及び技能の向上及び福利厚生の充実並びに新規就業者の確保に向けた通年雇用化や就業環境の改善などを継続する必要がある。	－	④	①	会議の開催方法をWeb開催にするなど、すでに可能な範囲において対応済み	－	⑥	①	会議の開催方法をWeb開催にするなど、すでに可能な範囲において対応済み	○	①	会議の開催方法をWeb開催にするなどコロナ禍の状況に応じた事業内容の見直しを実施				改善	新型コロナウイルスの影響を見極めながら、林業労働に従事する者の育成・確保、技術及び技能の向上及び福利厚生の充実を図るために必要な対策の企画・立案並びに新規就業者の確保に向けた通年雇用化や就業環境の改善などを促進する事務を実施する				
0633		－	一般	森林整備担い手対策推進費	①	林業労働者の安全衛生の確保、技術技能の向上、福利厚生の充実等に資する事業の実施	林業木材課	0	109,226	104,000	1.0	2.7	3.7	138,123	③	改善（指標分析）	北海道森林づくり基本計画で定める「林業の健全な発展」及び「山村地域における就業機会の確保等」の着実な推進に向け、林業労働者の育成・確保が引き続き必要であることから、今後も継続して実施する。	○	④	①	林業労働安全衛生の確保や技術技能の向上などに向けた、情報話の発行を電子化することで、ペーパーレス化を実施済。	－	⑥	①	林業労働安全衛生の確保や技術技能の向上などに向けた、情報話の発行を電子化することで、ペーパーレス化を実施済。	○	①	林業労働安全衛生の確保や技術技能の向上などに向けた、情報話の発行を電子化することで、ペーパーレス化を実施済。			ゼロカーボン北海道実現の観点から、様々な分野において環境やエネルギーなどの脱炭素社会の実現に向けた取組を推進する人材育成をより一層促進できるよう、事業内容を検討すること。	改善	新型コロナウイルスの影響を見極めながら、北海道森林整備担い手支援センター等との連携により、林業労働者の安全衛生の確保、技術技能の向上、福利厚生の充実等に資する事業を実施し、林業労働者の育成・確保を総合的に推進することで、ゼロカーボン北海道実現に資する				ゼロカーボン北海道実現に向け、引き続き北海道森林整備担い手支援センター等との連携により、林業労働者の育成・確保を総合的に推進する。
0634		－	一般	林業就業促進資金貸付事業に関すること	⑧	新規就業者等に対する林業就業促進資金貸付に関する事務	林業木材課	0	4,260	0	0.1	0.0	0.1	5,041	③	改善（指標分析）	人口減少下での林業担い手確保・定着のため、引き続き、新規就業者等に対する林業就業促進資金貸付事業を継続する必要がある。	－	－	－		－	－	－		－	－						改善	新型コロナウイルスの影響を見極めながら、新規就業者等に対する林業就業促進資金の貸付促進を実施する				
0640		－	事務	林業事業体等の振興対策等に関すること	②	林業事業体等の振興に係る施策の立案や林業事業体の育成・指導・研修に関する事務 林業事業体登録制度に関する事務	林業木材課	0	0	0	1.0	0.0	1.0	7,810		現状維持	北海道森林づくり基本計画で定める「林業の健全な発展」の着実な推進に向け、適切な森林施業と労働安全衛生管理に努める健全な林業事業体の育成（引き続き必要であることから、今後も継続して実施する。	－	④	①	会議の開催方法をWeb開催にするなど、すでに可能な範囲において対応済み	－	⑥	①	会議の開催方法をWeb開催にするなど、すでに可能な範囲において対応済み	○	①	会議の開催方法をWeb開催にするなどコロナ禍の状況に応じた事業内容の見直しを実施				現状維持					
0641		－	一般	農林漁業新規就業安心サポート事業費	⑥	首都圏などからの新たな担い手となり得る人材の幅広い確保に向けて、農林漁業への関心が低い転職希望者などに対して新たな就業の選択肢とするため、本道の農林漁業の一体的な情報発信や、就業希望者の就業と移住のミスマッチを解消する取組を実施	林業木材課	0	13,068	6,698	1.3	0.0	1.3	23,221		終了	人口減少下での林業担い手確保・定着のため、都市部住民等へ向けたイベント開催や、オンライン上でのプロモーションをR4年度以降も引き続き促進する必要がある。	－	⑤	②	委託仕様書に温室効果ガスの排出削減、吸収等に資する取組を促す項目の付記を検討	－	⑥	②	委託仕様書にIoT、AI、ICTを積極的に活用するよう付記することを検討。	○	①	オンライン形式によるイベント開催や、プロモーションを実施。			委託業務における、委託仕様書への脱炭素化やSociety5.0の推進に資する取組を促す項目の付記や、プロポーザルの際の提案の追加など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	終了			○	○	委託業務において、委託仕様書へ脱炭素化やSociety5.0の推進に資する取組を促す項目の付記を検討する。
0642		－	一般	緑の青年就業準備給付金事業費	⑧	北の森づくり専門学院で専門的な知識と技術を習得する学生に対し、給付金を支給する事務	林業木材課	0	115,302	0	0.3	0.0	0.3	117,645	①	改善（指標分析）	北森カレッジにおける、木材産業を目指す生徒の確保・修学と、知識・技能を備えた人材の木材産業への就業を促進するため、林業に加え、木材産業への就業を希望する生徒に対しての支援を行う必要がある。	－	－	－		－	－	－		－	－						改善	生徒の適性や希望を踏まえ、北の森づくり専門学院で専門的な知識と技術を習得する学生に対し、給付金を支給する事務を実施する				
0643		－	一般	北の森づくり専門学院管理費	①	北の森づくり専門学院における校舎・地域における講義・実習の運営や学生募集のための情報発信に関する事務	林業木材課	0	110,668	0	0.1	18.0	18.1	252,029	①	改善（指標分析）	円滑な学院運営及びSociety5.0や新型コロナウイルス感染症への対応のため、校務支援システムの導入による業務の効率化を図る必要がある。	－	④	①	可能な範囲での電子化・オンライン化を対応済。	－	⑥⑦	①	タブレットを活用した講義を実施。さらに推進していくためには、校務支援システムの導入による業務の効率化、省力化を図る必要がある。	○	①	タブレットを用いた講義による感染防止対策や、対面・オンラインのハイブリッド形式による学院説明会を開催。	○	本道の特色を活かした魅力ある教育プログラムの着実な実施や、企業への就業に向けたマッチングを進めるために必要な職員を配置し、人材の育成・確保を図る。		改善	新型コロナウイルスの影響を見極めながら、令和5年度の北の森づくり専門学院の入学者を道内外から広く確保するため、PRキャラバンや高校・大学等への訪問、道外での入学試験などを実施。インターンシップや進路相談等による生徒の業種適性の把握等関係団体と連携した取組により年度の就業を確保に取り組む				
0644		－	維持費	北の森づくり専門学院管理費（維持費）	⑤	北の森づくり専門学院における校舎施設の整備に関する事務	林業木材課	0	26,294	0	0.1	0.0	0.1	27,075	①	改善（指標分析）	円滑な学院運営のために、校舎施設の維持運営を行う必要がある。	－	⑤	①	CLTを活用した木造新校舎を建築	－	－	－		－	－						改善	効率的に校舎および公用車等の維持管理を実施する				
0645		－	事務	森林整備等支援事業費（市町村の体制強化）	⑥	「森の魅力発信し隊」による雇用拡大事業	林業木材課	0	0	0	0.1	0.0	0.1	781	③	改善（指標分析）	人口減少下での林業担い手確保・定着のため、引き続き、「森の魅力発信し隊」による雇用拡大事業を継続する必要がある。	－	⑤	①	可能な範囲での電子化・オンライン化を対応済。また、委託仕様書に温室効果ガスの排出削減、吸収等に資する取組を促す項目の付記を検討	－	⑥	①	可能な範囲での電子化・オンライン化を対応済。また、委託仕様書にIoT、AI、ICTを積極的に活用するよう付記することを検討。	○	①	オンライン上でのミーティング実施等による隊の運営を図っているところ。				改善	新型コロナウイルスの影響を見極めながら、若手林業就業者等の情報交換を促進するとともに、自然の中での仕事や生活に興味のある層へ幅広情報発信する				
計								0	378,818	110,698	7.5	24.1	31.6																								

■令和４年度　新規事業

農林漁業新規就業安心サポート事業費